

2020年6月15日

帝京香港幼稚園

保護者の皆様へ

6月15日からの幼稚園再開について

当園はCOVID-19(新型コロナウイルス)感染防止のため、香港教育局の指示により1月25日から休園措置が取られておりました。この度、5月5日に教育局より休園措置解除の発表があり、再開対象学年は年長組のみですが、6月15日より保育を開始し致します。本来であれば、再開にあたり、保護者の皆様への説明の機会を設ける必要がありますが、教育局より教育機関内での集まりは極力控えるよう指示が出ているため、今回、書面にてお知らせいたします。

休園期間中、園舎内の清掃、消毒を行い、衛生環境の整備に努めてきました。SARS(非典型型肺炎)以降、園内に入る前の手指のアルコール消毒、ゴミ箱は蓋つきタイプの使用、おもちゃの消毒、漂白剤による保育室、トイレの床の清掃、ペーパータオルの使用を行ってきました。これらの使用は、今後も引き続き行って参ります。

来園者に対しても、鉄門前での検温と手指のアルコール消毒を行い、マスク着用のない場合は、入口にての対応(主に業者の出入り)の徹底を行って参ります。

教職員も、毎日の検温とマスクの着用、手洗いの励行、必要に応じての手指のアルコール消毒等体調管理に努めて参ります。

今後も、保育室等の換気に注意し、園児が安全で健康的な園生活を送れるように最大限の注意を図って参ります。保護者の皆様におかれましてもお子様が健康的な環境で園生活を送れるよう、保育再開にあたり、下記のご協力をお願いいたします。

1. ご家庭でご協力いただくこと

① 朝の検温

登園前にご家庭で検温し、幼稚園HPからダウンロードした「検温表」に体温、検温時間。保護者の署名(サイン)をご記入ください。再登園初日に、冊子「検温表」をお渡します。登園後はこちらの小冊子にご記入ください。

※検温表は、再登園日2週間前からご記入をお願いします。各ご家庭で、登園日が違うと思いますので、ご注意ください。

※体温が腋窩(わきの下)検温で37.4度(耳検温で38.1度)以上の場合、体調がすぐれない時(咳や鼻水の症状)等、様子が違う場合は、登園を見合わせて下さい。この場合は病欠欠席ではなく「出席停止」扱いとします。

以下の理由による欠席は、「出席停止」となります。

- ① COVID-19への感染が判明したとき
- ② 園児が感染者の濃厚接触者に特定されたとき
- ③ 体温が37.4度以上のとき
- ④ 発熱等の風邪症状が見られるとき
- ⑤ 海外から香港に入国し2週間の自宅待機をしている時
- ⑥ 感染予防上、保護者が園児の登園を控えた時

- ② 感染予防の為、幼稚園敷地内、通園バス内では必ずマスクの着用をお願いします。お子様がいつでもマスクをつけるようにご家庭でもお話し下さい。記名をしたマスクを着用させ、予備のマスク（密着できる袋に入れ）にも記名して持たせて下さい。
- ③ 登園初日に既にご記入をお願いし、Eメール添付でご提出頂いた「渡航歴および健康状態の申告書」の原本をご提出お願い致します。
- ④ 保育中に緊急連絡が取れるよう、携帯電話はいつでもお持ちください。又、緊急以外の幼稚園からの連絡はEメールで行います。外出先でもEメール受信できるようにお願いします。

2. 幼稚園で行う予防対策について

- ① 門前での体温確認
幼稚園玄関で、非接触体温測定器を使用して、全園児の体温確認をします。
この検温で、37.4度以上の場合はご家庭に連絡をしますので、お迎えをお願いします。
(この場合、感染症対策の為降園バスにはご乗車いただけません。)
- ② 手洗いの励行と手指のアルコール消毒の使用
手洗い指導を行い、活動ごとに手洗いをします。また、保育室にアルコール消毒を準備し、必要に応じて手指の消毒を行います。(アレルギーでアルコールの使用が出来ない等、健康面の配慮事項がありましたら、担任までご連絡ください。)
- ③ ペーパータオルの使用
手洗い場、トイレでは、引き続きペーパータオルを使用します。ゴミ箱も全て蓋つきタイプを使用しています。
- ④ 園舎内の換気の徹底
教室、廊下、階段の窓を開け、空調を使用して常時換気を行います。空調フィルターの掃除は毎月行っています。
- ⑤ 保育室の消毒について
園児降園後、クラス担任が保育室の消毒を行います。園舎内の園児が触る所、トイレも1日2回以上、消毒を行います。
- ⑥ 靴底の消毒
鉄門、トイレに消毒マットを設置し、靴底の消毒を行います。

3. その他、保育中における配慮

- ① 保育指導は、換気やソーシャルディスタンスに配慮し実施します。
- ② 教材の共有を避けるよう指導内容を工夫します。共有する必要がある教材については使用後に消毒を行います。
- ③ 対面で座る座席配置での製作、活動は行いません。製作の際は、座る人数、座る向けに配慮しながら行います。

以上